

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

答えとてびき

東京書籍版 社会 4年



もんだい 問題がとけたら…

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次にてびきをよんでかくにんしましょう。

📖 おうちのなかへ 📖 は学習のねらいやポイントを掲載しています。お子様への説明にご活用ください。

1 わたしたちの県

ぴったり 1 **じゃんび** 2ページ

- 1 ①47 ②北海道 ③山形県 ④新潟県 ⑤栃木県 ⑥静岡県 ⑦愛知県 ⑧滋賀県 ⑨香川県
⑩宮崎県

ぴったり 2 **練習** 3ページ

てびき

- 1 ①—ウ
②—イ
③—エ
④—ア
- 2 (1) 中部地方
(2) ①エ ②カ ③ウ
- 1 ③北海道は日本でいちばん北にあり、面積は都道府県の中で最も広いです。④日本の首都は東京都です。
- 2 (1) 中部地方には愛知県、岐阜県、静岡県、山梨県、長野県、福井県、石川県、富山県、新潟県があります。
(2) アのサケは北海道、イのりんごは青森県、オの牛は滋賀県などの特産品です。

ぴったり 1 **じゃんび** 4ページ

- 1 ①東北 ②太平洋 ③福島
- 2 ④仙台平野 ⑤奥羽山脈 ⑥仙台湾 ⑦半島 ⑧阿武隈川

ぴったり 2 **練習** 5ページ

てびき

- 1 (1) 太平洋
(2) ②岩手県 ③秋田県
④山形県
- 2 (1) ①東側 ②西側
③中央
(2) ア (3) ア
- 1 (2) 宮城県のまわりには、岩手県、秋田県、山形県、福島県があります。
- 2 (1)②③ 県の西部には土地の高い地いきが広がり、中央部には土地の低い平野が広がっています。
(2) Aは山地から始まり、土地の低い平野を通ります。海をほとんど通っていないことにも注目しましょう。

ぴったり 3 **たしかめのテスト** 6~7ページ

てびき

- 1 (1) ①山梨県 ②新潟県
③高知県
(2) 地方名：九州(地方)
記号：⊕
(3) ①○ ②× ③× ④○
(4) ①青森県 ②福岡県
- 1 (1) ①盆地の名前にもある甲府は、山梨県にある市の名前です。③高知県は四国地方の南側に位置しています。
(2) 九州地方は、日本の中でもいちばん西にあります。
(3) ②正しくは近畿地方です。③いちばん西にあるのは山口県です。広島県はそのとなりです。
(4) ①東北地方のいちばん北は青森県です。②熊本県がある九州地方で、明太子が有名な県は福岡県です。

- 2 (1) 東北
 (2) ①× ②× ③○
- 3 (1) 地勢図 (2) ア
 (3) ア西側 ①北上川
 (4) ア

- 2 (2) ①宮城県には、青森県以外の4県が^{いがい}せっています。
 ②福島県の北にあります。
- 3 (3) ①阿武隈川は、県の南側を流れています。
 (4) 衛星写真などを活用して土地の地形を見ていくと、土地の特色がより見えてきます。

 **おうちのかたへ**  4年生になって初めて学ぶ内容です。はじめに、日本にはどのような都道府県があるのか、各地の産物は何かなどを見ていきます。また、宮城県を例に取り上げ、県内の特色について学習していきます。

ひたたり 1 **じゅんぴ** 8ページ

- 1 ①米 ②観光 ③市街地 ④らく農
- 2 ⑤仙台 ⑥東 ⑦太平洋 ⑧しゅくしゃく

ひたたり 2 **練習** 9ページ

てびき

- 1 (1) ①市街地 ②田 ③畑
 (2) ウ (3) ②
- 2 (1) 仙台市
 (2) ^{おながわ}女川町
 (3) しゅくしゃく

- 1 (1) ②③平野には田や畑が広がっています。
 (2) 蔵王町の蔵王連峰^{れんぼう}で美しい樹氷が見られます。
 (3) ③宮城県には山地も広がり、森林も多くあります。
- 2 (2) 地図をよく見て答えましょう。女川町は、石巻市に^{おながわ}囲まれるような場所に位置^いしています。

ひたたり 1 **じゅんぴ** 10ページ

- 1 ①東北自動車道 ②山形自動車道
- 2 ③水産業 ④車づくり ⑤米づくり ⑥伝統的工芸品 ⑦なしづくり

ひたたり 2 **練習** 11ページ

てびき

- 1 (1) ①イ ②エ
 ③ア ④ウ
 (2) 南北
- 2 ①—ウ ②—ア
 ③—イ

- 1 (1) ①南北にのびる東北新かん線^{とうほく}です。②港の様子です。
 ③空港です。④南北にのびる自動車道です。
- 2 ①県庁所在地で県の中心的な市です。じょうほうや人が集まります。②海ぞいにあり多くの魚が水あげされます。
 ③宮城伝統こけしの「鳴子こけし」^{なるこ}がつくられています。

ひたたり 3 **たしかめのテスト** 12~13ページ

てびき

- 1 (1) 土地利用図
 (2) ①○ ②○ ③×
 (3) (例)森林として使われている。
- 2 (1) 県庁所在地^{けんちやうしよざい}
 (2) ①イ ②エ ③ウ ④ア
 (3) しゅくしゃく
- 3 (1) 仙台市
 (2) ①○ ②×
 (3) (例)南北にのびている。
- 4 (1) ①水産業 ②北部 ③こけし
 (2) ①宮城伝統こけし^{みやぎでんとう}
 ②伝統的工芸品^{でんとうていこうげい}

- 1 (2) ③かじゅ園は、県内の南側から北側までの各地にあります。
 (3) 西側の山地には森林が広がっています。
- 2 (2) ①県内でもっとも人口が多いのは、県庁所在地である仙台市です。④国の伝統的工芸品に指定されている鳴子こけしは大崎市でつくられています。
- 3 (1) 宮城県は仙台市を中心に交通が発達しており、多くの人やものが集まります。
 (2) ②空港や港を利用して海外の都市へも行けます。
- 4 (1) ①県の北側の海ぞいの地いきでは、水産業がさかんです。②北部の平野では米づくりがさかんです。③仙台市や蔵王町、大崎市などでもつくられています。



おうちのカタヘ

ここでは宮城県を例に挙げ、県の土地利用図から、産業や交通について学びます。一つの県の中でも、さまざまなものがつくられており、それがその土地の特色とつながっていることを学びます。実際の学習では、みなさんが住んでいる都道府県にあてはめて、お子さんと学習を深めてください。

2 住みよいくらしをつくる

ひたたり 1 じゃんび 14ページ

- 1 ①農家 ②工場 ③しげん
2 ④水道管 ⑤ダム ⑥じょう水場 ⑦ごみ ⑧ろか池

ひたたり 2 練習 15ページ

てびき

- 1 (1) (約)10000(万 m^3)
(2) ふえている
(3) ふえている
2 (1) ①ポンプ室
②水道管
(2) じょう水場
(3) ①イ ③ア
- 1 (1) グラフを見ると、2000年はほぼ10000万 m^3 です。
(2)(3) 給水量も人口もともにふえています。
2 (1)① 地下を通ってきた水は、学校の高いところに水を運ぶためにポンプでおし上げられています。
(3) ㊦ではぎょうしゅうざいで固まりになったごみをしずめます。㊧では㊦でしずまなかったごみを取りのぞきます。㊨では、塩素を入れて消毒します。

ひたたり 1 じゃんび 16ページ

- 1 ①水質試験所 ②水質 ③安全 ④発電
2 ⑤たくわえる ⑥雨 ⑦地下水 ⑧すい上げられる

ひたたり 2 練習 17ページ

てびき

- 1 (1) ①○ ②○
③× ④×
(2) ①ダム
②イ上流
㊦水不足
㊧発電
2 (1) 緑のダム
(2) 森林セラピー
- 1 (1) ③けんさは毎日行われています。④毎回さまざまなじゃ口から水をとって水質けんさをしています。
(2) ②ダムは川の水量を調節するだけでなく、水力発電にも利用されています。岡山市は、旭川の上流にあるダムのおかげで水不足にならないようになっています。
2 (1) 森に雨がふると、半分ほどの水が森にたくわえられます。地下にしみこんだ水は、やがて泉としてわき出ます。日本はゆたかな森にめぐまれています。

ひたたり 3 たしかめのテスト 18~19ページ

てびき

- 1 (1) ①○ ②× ③○
④×
(2) ア, イ, ウ, エ, オ(順不同)
2 (1) ①エ ②ア
③イ ④ウ
(2) ④
- 1 (1) ④人口はふえつづけていますが、給水量は2000年から2017年にかけてはへっています。
(2) 手をあらうのに使ったり、調理に使ったりと、さまざまな使われ方をしています。
2 (1) ①で一度水の中のごみをしずめたあと、②にぎょうしゅうざいを入れて水をかきまぜ、③で固まったごみをしずめます。残ったごみを④で取りのぞきます。

3 (1) (例) 旭川の下流の雨の量が少ないため、上流にダムをつくり、水をためておくため。

(2) (水力) 発電

(3) ア, ウ (順不同)

4 (1) ①—ア

②—ウ

③—イ

(2) (森林の) 多い(山)

3 (1) 岡山市の雨の量は、旭川の上流の雨の量よりも少ないです。雨が多くふる上流で水をためておき、岡山市が水不足にならないようにしています。

(3) 水質試験所は、家庭などに送られる水ににごりやび生物がまざっていないかどうかをけんさをするところです。飲料水の生産などは行っていません。④は中央管理室で行われています。

4 (1)② 森林は人にやすらぎをあたえて健康にもえいきょうがあるとされています。



おうちのみなへ

毎日の生活や産業に欠かせない水は、どうやってつくれ、どのようにして家や工場へ送られるのでしょうか。浄水場の見学などを交えながら、安心して飲める水をつくる浄水場の仕組みや、ダムや水源の森の役割について学びます。

ひたひた 1 じゃんび 20ページ

1 ①水じょう気 ②ダム ③再利用

2 ④ESD ⑤持続可能 ⑥教育 ⑦森 ⑧エコツアー ⑨節水

ひたひた 2 練習 21ページ

てびき

1 (1) ①水じょう気 ②雨
③ダム ④地下水
⑤海

(2) 下水しより場 (じょう化センター)

(3) (水の) じゅんかん

2 (1) ①× ②○ ③○
④× ⑤○

(2) ESD

1 水はじょう発し、雨として地上にふります。雨としてふった水は森にたくわえられ、ダムにためられます。それがやがて海へともどり、またじょう発します。家庭などで使われた水は、下水しより場できれいにされて、海に流されます。

2 (1) ①歯をみがくときは、水を止めてからみがきましょう。④手をあらったあとは水を止めて、次の人が使うときにまた出すようにしましょう。

(2) 日本語では、「持続可能な開発のための教育」です。

ひたひた 3 たしかめのテスト 22~23ページ

てびき

1 (1) (例) 使った水をきれいにするしせつ。

(2) ①○ ②× ③○

2 (1) ア水じょう気 ①じゅんかん

(2) じょう水場③

ダム①

水げんの森②

3 (1) ①イ ②イ ③ア ④イ

(2) ①学校 ②ESD

③エコツアー

(3) 持続可能な開発(のための教育)

(4) (例) 水のかんきょうや森の役わりについて考えてほしいという願い。

1 (1) 使った水をここできれいにし、川や海に流します。
(2) ②旭川の上流にあります。③きれいにした水を川に流すので、川に近いところに多くあります。

2 (1) 地球上の水はじゅんかんしています。

(2) ダムは川の上流の森につくられます。じょう水場は、川の水を取り入れ、まちへ水を送るので、まちの中でも土地の高いところにあります。

3 (1) ①残り湯を使えば、水を多く使わずにすみます。②必要な分だけ水を用意すれば、よぶんな水を使わずにすみます。③体を流すときだけ水を使うようにしましょう。

(2) ①学校と協力して、子どもたちが学習できる取り組みが行われています。

(4) 大人だけでなく、未来をになう子どもたちもいっしょに考えていくことが大切です。



おうちのかたへ

ここでは、水の循環について学び、限りある水を大切にするために、自分たちに出来ることを考えます。

ぴったり 1 **じゃんび** 24ページ

- 1 ①火力 ②水力 ③二酸化炭素 ④原子力 ⑤再生可能
 2 ⑥タンカー ⑦におい ⑧止める

ぴったり 2 **練習** 25ページ

てびき

- 1 (1) ①—ウ
 ②—イ
 ③—ア
 ④—エ
 (2) 再生可能
 2 ④→②→①→③

- 1 (1) ①発電後の熱はだんぼうや温水に活用できます。②燃料や廃棄物のあつかいがむずかしく、事故が起きると長く大きなひがいが出ます。③水の力で発電するので燃料を使いません。④二酸化炭素を多く出します。
 (2) 二酸化炭素を出さない、大きなしせつを必要としないなどが利点です。使用量は年々ふえ続けています。

ぴったり 1 **じゃんび** 26ページ

- 1 ①種類 ②しより ③曜日 ④リサイクル ⑤しゅう集
 2 ⑥プラットホーム ⑦ごみピット ⑧中央せいぎよ室

ぴったり 2 **練習** 27ページ

てびき

- 1 (1) ①—イ
 ②—ウ
 ③—エ
 ④—ア
 (2) リサイクルマーク
 2 ①ウ ②ア
 ③イ ④エ

- 1 (1) 宇都宮市のごみ出しの決まりではそ大ごみは50cm以上の大きさのごみです。したがってアの自転車は④のそ大ごみ、30cmほどのなべは②のもえないごみに分けられます。雑誌はもえるごみではなくしげん物です。
 2 ④ごみの重さをはかり、ごみピットにごみを入れ、もやします。じょう気は②で発電に使われたり③で冷やされて水にもどされたりします。これらは①でコンピューターで管理されています。

ぴったり 1 **じゃんび** 28ページ

- 1 ①しょぶん場 ②うめる ③エコスラグ ④熱 ⑤リサイクルプラザ
 2 ⑥お金 ⑦うめ立て ⑧リデュース

ぴったり 2 **練習** 29ページ

てびき

- 1 (1) ①〇 ②×
 ③〇 ④×
 (2) びん—ウ
 かん—イ
 ペットボトル—ア
 2 (1) (例) しよりが難しいという問題。
 (2) ①

- 1 (1) ②はいは消えずにたまっていきます。いっぱいになると新たなしょぶん場にためていきます。④熱を利用してプールや大浴場を運えいするしせつがあります。
 (2) びんは再生びんなどの材料となるカレットに、かんはアルミ・鉄製品や再生かんなどの材料となる再生地金やスラブに、ペットボトルは服や再生ペットボトルの材料となるペレットに変わります。
 2 リデュースとは、ごみになるものをへらすことです。

- 1 ①分別 ②リサイクル ③たいひ ④回しゅう ⑤エコバッグ
 2 ⑥下水道管 ⑦び生物 ⑧消毒 ⑨再利用

- 1 (1) ①○
 ②×
 ③×
 ④○
 (2) たいひ
 (3) リデュース, リユース,
 リサイクル(順不同)
 2 (1) 下水道管
 (2) 小さなおみ, 泥どろ(順不同)
 (3) ア, ウ(順不同)

- 1 (1) ②自分たちで分別しましょう。③自分のエコバッグを使うと、ビニールぶくろを使わずにすみます。
 (3) ごみになるものをへらすことをリデュース, ものをくり返し何度もつかうことをリユース, これにリサイクルを合わせて「3R」と言われます。
 2 (1)(2) 家庭から出た水は、下水道管を通して下水しより場に運ばれます。下水ポンプでくみ上げられた水に小さなごみや泥をすずめて、び生物の集まりである泥できれいにします。その後、さらに細かいごみを取りのぞき、川や海などに流されます。

- 1 (1) ①× ②○
 ③○ ④×
 (2) さいりょう再利用
 2 (1) ア③ イ②
 ウ④ エ①
 (2) 中央せいぎよ室
 3 (1) ①—イ
 ②—ウ
 ③—エ
 ④—ア
 (2) (例) 大切なしげんを節約すること。
 4 (1) ①下水道管
 ②び生物
 ③消毒
 (2) (例) 台所から生ごみや油を流さない。

- 1 (1) ①ダンボールは、しげん物として出します。④自転車のような大きいごみは、そだごみとして出します。
 (2) リサイクルマークがついているものは、新たなせい品の材料へと変えることができます。ごみをへらすための大きなくふうです。
 2 (1) 27ページのぴったり2の解説かいせつをふり返りましょう。
 (2) ここでは工場内の作業が管理されています。
 3 (1) ④のエコスラグとは、ごみをもやしたはいなどを高温でとかし、それを冷やしてつくられるガラスじょうのものです。
 (2) リサイクルして再利用さいりょうすることは、新たな材料となるしげんを大切にすることにつながります。
 4 (1) よごれた水は川ではなく下水道管を通します。
 (2) 不要ふようなものを下水道管に流さないことで、よりきれいな水をじゅんかんさせることができます。



おうちのかたへ ごみの再生や再利用の取り組みや、ごみを減らすための人々の工夫について学び、自分たちにできることを考えていきます。

3 自然災害からくらしを守る

- 1 ①風水 ②火山 ③津波 ④自衛隊
 2 ⑤ひなん所 ⑥じゅんぴ ⑦協力 ⑧地形 ⑨ひがい ⑩対さく

- 1 (1) 静岡県
 (2) ①○
 ②×
 ③×
 ④○

- 2 ①ア
 ②ウ
 ③イ

- 1 (1) 伊豆半島は静岡県にある半島です。
 (2) ②静岡県の近くでは、伊豆半島沖地震の以前にも、1854年の安政東海地震、1930年の北伊豆地震、1944年の東南海地震といった大きな地震が発生しています。
- 2 ①市の地形を知るだけでなく、どのようにひがいが広がると予想されているのかなどを調べておきましょう。
 ③だれが、どのような対応をするのか、それぞれの役わりを知っておくことも大切です。

- 1 ①水 ②家具 ③エレベーター ④伝言ダイヤル ⑤ひなん場所
 2 ⑥訓練 ⑦防災倉庫 ⑧ひょうしき ⑨テント

- 1 (1) ①エ ②ア
 ③ウ ④イ
 (2) 171 (番)

- 2 ①—エ
 ②—ア
 ③—イ
 ④—ウ

- 1 (1) ①②地震のときは、家具などがたおれてくるきげんや、水や食料が不足することも予想されます。
 (2) もしものときは、災害用伝言ダイヤルを使ってれんらくし合うことを約束しておくといいです。
- 2 ①ひょうしきを見て、自分はどこにひなんしたらよいのか、かくにんしましょう。②長期間のほぞんができる食料をほかんします。③公園のブランコは、災害時などにテントとして利用できるものもあります。④防災倉庫には、生活に必要な毛布などがほかんされています。

- 1 (1) ①イ ②ウ
 ③エ ④ア
 (2) 津波

- 2 ①○ ②○
 ③○ ④×
 ⑤× ⑥○

- 3 ①—エ ②—ウ
 ③—ア ④—イ

- 4 (1) ①○ ②○
 ③× ④×

(2) (例) 身を守り、安全をかくにんした後、決められた場所にひなんする。

- 1 (1) ①台風や大雨などによるひがいです。川の水がまちにあふれることもあります。②雪が積むると交通に大きなえいきょうがでます。③地震では、地面にひびが入ったりすることもあります。④ふん火で大量のはいがふき出し、広いはん囲にはいがふってしまいます。
- 2 ④家や学校での取り組みを調べることも重要です。⑤県や国のホームページなどでかくにんしましょう。
- 3 ②電気が止まると、じょうほうが得られなくなります。けいたいラジオや、電池を用意しておきましょう。④水道が止まると、飲み水だけでなく、トイレやおふろなど、あらゆるものが使用できなくなります。
- 4 (1) ③きん急の食料は、食中毒などのきげんが少なく、長くほかんできるもので、学校でもほかんされています。④国や県、地いきが管理しています。



ここでは、過去にどのような地震が起こり、どのような被害が起こったのかを学びます。そしてわたしたちにどのようなそなえができるかを考えていきます。ご家庭でも、お子さんといっしょに家庭のそなえについて話し合ってみてください。

ぴったり 1 **じゃんび** 40ページ

- 1 ①防災計画 ②ひなん ③津波ひなんビル ④自衛隊
 2 ⑤防災訓練 ⑥自主防災組織 ⑦自主防災隊 ⑧衛生

ぴったり 2 **練習** 41ページ

てびき

- 1 (1) アひなん場所
 ①津波ひなんビル
 (2) ア
 2 ①—ウ
 ②—イ
 ③—エ
 ④—ア

- 1 (1) 津波ひなんビルの方が、海の近くに多くあります。
 (2) 「2.4m」という数字はこの地点の地面の高さをしめ
 しています。
 2 ①救出活動を行い、必要がある場合は防災関係機関な
 どへ出動をいらいします。②ひなん場所まですばやく、
 安全に連れていきます。③けが人を病院や救護所に運び
 ます。④たき出しを行ったり、食料品や飲料水、生活用
 品を配ったりします。

ぴったり 1 **じゃんび** 42ページ

- 1 ①自助 ②共助 ③公助 ④互助
 2 ⑤外国人 ⑥マイ・タイムライン ⑦火山防災マップ ⑧ヘルメット ⑨国

ぴったり 2 **練習** 43ページ

てびき

- 1 ① 自助
 ② 互助
 ③ 共助
 ④ 公助
 2 (1) ①○ ②×
 ③○ ④×
 (2) ①火山防災マップ
 ②エ

- 1 ①自分の身は自分で守るという役わりです。②ほかの
 地いきとの助け合いです。③学校や地いきで助け合っ
 て守るという役わりです。④市や県、国などによる助けです。
 2 (1) ②日本語だけでなく、さまざまな国の言語に対応し
 ています。④国や市が出すじょうほうをもとに住民が
 自分たちでつくるものです。
 (2) ②県や市町村、消防やけいさつ、国の機関といった
 多くの人たちが参加します。

ぴったり 3 **たしかめのテスト** 44~45ページ

てびき

- 1 (1) ①× ②× ③× ④×
 (2) ア防災計画 ①県
 2 (1) ①ハザードマップ
 ②海ばつ
 (2) (例) ひなん所まですばやく、
 安全に連れていく。
 3 ①—ウ ②—エ
 ③—ア ④—イ
 4 (1) ①イ ②ウ ③ア
 (2) 自分(本人)
 (3) (例) ふん火の災害から登山者
 を守るため。

- 1 (1) ①ひなん場所には、津波がとどきに近く、高いところ
 が指定されるので、海側には少ないです。②津波ひ
 なんビルは、海の近くにいてにげられない人が、高い
 ところにひなんできるよう、海側にある高い建物など
 が指定されます。
 2 (1) ②いろいろな場所の海ばつがしめされると、地形や、
 どこにひなんしたらよいかなどを考えることができます。
 3 43ページのぴったり2の1の解説をふり返りましょう。
 4 (1) まず天気予ほうなどで災害が起こりそうかどうかを
 かくにんし、その後ひなんに必要なものをひつよう
 します。じゃんびができたなら、早いうちにひなんしま
 しょう。



おうちのかたへ

ここでは、実際に災害が起こった場合にどのような行動をとるべきか、また誰がどのように連携して対応するのかを学びます。自分にできること、人と協力してできること、また、市や県、国が行うことなどを学んでいきます。

4 きょう土の伝統・文化と先人たち

ひたたり 1 **じゃんび** 46ページ

- 1 ①道後温泉 ②ハツ鹿おどり ③太鼓台 ④芸のう
 2 ⑤鉄道 ⑥地震 ⑦夏目漱石 ⑧文化ざい

ひたたり 2 **練習** 47ページ

てびき

- 1 (1) ①新居浜市
 ②宇和島市
 (2) ①—① ②—ア
 ③—ウ
 2 ①× ②×
 ③○ ④○

- 1 (1) 大きな太鼓台で有名なのが新居浜市の太鼓祭り、鹿のかぶり物をしておどるのが宇和島市のハツ鹿おどりです。
 (2) 愛媛県を三つに分けた地いきで、それぞれに特ちょうがあります。
 2 ①改ちくに取り組んだのは、130年ほど前です。②温泉は、多くの人が入れるように年中無休になっています。

ひたたり 1 **じゃんび** 48ページ

- 1 ①ハツ鹿おどり ②小学生 ③直せつ ④仙台 ⑤意味
 2 ⑥太鼓台 ⑦船御幸 ⑧子ども

ひたたり 2 **練習** 49ページ

てびき

- 1 (1) ハツ鹿おどり (2) 小学生
 (3) ①○ ②× ③×
 ④○ ⑤○
 2 (1) 太鼓台
 (2) 子ども(たち)
 (3) ①感しゃ ②船御幸
 ③漁場 ④団結

- 1 (2) 小学生の高学年が中心になっておどっています。
 (3) ②宇和島にハツ鹿おどりが伝わったのは、江戸時代のはじめです。③宇和島に伝わったあと、愛媛県南部の各地に広まったと言われています。
 2 (2) 子ども用の小さい太鼓台が使われています。
 (3) 各地区の太鼓台には、その地いきのれきしや思いにかんれん関連したかざりがつけられています。

ひたたり 1 **じゃんび** 50ページ

- 1 ①宇和島 ②大きく ③夏目漱石 ④子ども太鼓台 ⑤文化ざい
 2 ⑥正月 ⑦350 ⑧わかい

ひたたり 2 **練習** 51ページ

てびき

- 1 (1) ①イ ②ウ
 ③イ ④ウ
 ⑤ア ⑥ア
 (2) イ

- 1 (1) 年表を見ると、何年にどこで何があったのかを知ることができます。①～⑥がいつごろの、どのこう目について書かれているかをたしかめながら答えましょう。
 (2) 改ちくされたのは明治27年で、およそ130年前です。

- 2 (1) ①350 ②正月
③少ない
(2) きょう土芸のう

- 2 (1) 伊予万歳いよまんざいは350年以上前からつづ続いています。最近さいはわかい人の参加がへっているため、伊予万歳ほぞん会ほぞんかいの人は小学校のクラブ活動でも教えています。

ひたひた 3 たしかめのテスト

52~53 ページ

てびき

- 1 (1) ①ア
②ウ
(2) 中予
(3) ハツ鹿おどり ①
太鼓祭り ア
- 2 (1) 道後温泉
(2) ①× ②×
③○ ④○
- 3 ① ○ ② ×
③ × ④ ○
⑤ ○
- 4 (1) ア思い
①わかい人
②かたちを変えながら
(2) (例) 実際に祭りなどに参加し、自分が楽しいと感じたところをまわりの人たちに伝える。

- 1 (1) ①祭りの名前も「新居浜太鼓祭り」です。②江戸時代のはじめに東北地方から宇和島に伝わりました。
(2) 北(東)から順に東予, 中予, 南予となります。
(3) ハツ鹿おどりは、よいことが起こるようにという願いがこめられた、めでたいおどりで。太鼓祭りは、各地区のれきしや思いに関連したかざりがつけられており、地いきの人たちのほこりとなっています。
- 2 (2) ①行われたのは改ちくです。②年中無休で毎日入ることができます。
- 3 ①平成20年に仙台や京都で公えんしています。②昭和42年に子ども太鼓台が始まっています。④産業のはってんと同時に祭りも大規模になっていきました。
- 4 (1) ⑦いろいろな思いや願いがこめられています。①未来に伝えていくために、わかい人に多く参加してほしいと願われています。②それぞれの時代を生きる人たちのくふうで、時代に合ったかたちに変えながら続けられています。



おうちのかたへ ここでは、愛媛県を例に挙げ、きょう土の伝統・文化について学習します。どのような伝統・文化があるのか、それらはどのようにして始まり、これまで受けつがれてきたのかを見ていきます。ご家庭でも、住んでいる地域に伝わる伝統・文化についてお子さんと話してみてください。

ひたひた 41 じゃんび

54 ページ

- 1 ①白糸台地 ②布田保之助 ③石 ④水 ⑤作物 ⑥谷底
2 ⑦用水路 ⑧笹原川

ひたひた 42 練習

55 ページ

てびき

- 1 (1) 熊本県
(2) 石
(3) 布田保之助
(4) ③
- 2 (1) 笹原川
(2) 用水路
(3) ①× ②×
③○ ④○

- 1 (2)(3) 通潤橋は、今から160年以上前に、布田保之助を中心に、石を組んでつくられました。
(4) 水を低いところから高いところへ引いたことが最大の特ちょうです。水不足でなやむ白糸台地に水を引くことが目的のため、②はちがいます。
- 2 (2) 橋の中に用水路が通っています。
(3) ①橋をつくり始めたのは1852年です。②通潤橋ができたのは1854年です。

ひたひた 41 じゃんび

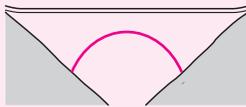
56 ページ

- 1 ①等高線 ②急 ③ゆるやか ④落ちる ⑤ふき上がる ⑥木 ⑦石
2 ⑧しっくい ⑨アーチ

- 1 (1) ①高さ
②ふき上がる
(2) ②
(3) ①
(4) 450m 以上
- 2 (1) しっくい
(2) アーチ(型)

- 1 (1) 通潤橋では、両はじの高さを^か変えると片側から水が^{かたがわ}ふき上がるしくみを使って水を通してあります。
(2) 地図を見ると、白糸台地のまわりは低い土地で囲まれていることがわかります。
(3) 土地の高さや、川のある位置などに注目しましょう。
- 2 (1) この特別なしっくいには、石かいや赤土、砂、塩や^{まつ}松の葉をにつめたしるなどが入っていました。

- 1 (1) ①笹原川 ②白糸台地
③用水路
(2) ①, ④ (順不同)
- 2 ① × ② ○ ③ ○
④ × ⑤ ○
- 3 (1) 等高線
(2) (例) 白糸台地のまわりが深い谷に囲まれている。
(3) ①ア石 ①じょうぶに
②2年
②しっくい
- 4 (1) アーチ(型)
(2) (例)



- 1 (1) 通潤橋は、水を白糸台地に運ぶ用水路の一部です。
(2) ①主に、あわやひえ、いもがつくられていました。
④飲み水は谷までくみに行っていました。
- 2 ①管には石が使われています。④低いところから高いところに水を運んでいるのが、通潤橋の特ちょうです。
- 3 (2) 等高線を見ると、白糸台地のまわりの土地が低いことがわかります。そこは川が流れる深い谷です。
(3) ①通潤橋はさまざまなくふうによってつくられています。ア通潤橋の管には石が使われています。
②石と石のすきまから水がもれてしまうため、特別なしっくいを使って水もれを^{ふせ}防ぎました。
- 4 (1) もっともじょうぶな形として取り入れました。
(2) 半円をえがくようにかいてあげればよいです。



おうちのかたへ

熊本県にある通潤橋を例に取り上げ、当時の人々のどのような願いから通潤橋がつけられたのか、また、どのような困難とそれに対する工夫があったのか、先人の知恵と努力を見ていきます。

- 1 ①橋本勘五郎 ②種山石工 ③熊本城 ④木のわく
- 2 ⑤米 ⑥文化ざい ⑦用水 ⑧未来

- 1 (1) 種山石工
(2) ④→②→①→③
- 2 (1) ア
(2) 米
(3) ①×
②○

- 1 (1) 種山石工はすぐれたぎじゅつをもった石工の集団で、多くの石橋をつくりました。
(2) まず木のわくを組み立て、その上に土台となる石を積み、さらに石を積み上げます。最後に木のわくを外して^{かんせい}完成です。
- 2 (1)(2) 白糸台地では用水路が通されてから、田がふえ、米がたくさんつくられるようになりました。

- 1 (1) 種山石工 たねやまいし く
 (2) ①石がき ②熊本城 くまもと
 ③ (例) じょうぶな橋をつくるため。
- 2 (1) ①ウ ②エ ③イ ④ア
 (2) イ→エ→ア→ウ
- 3 (1) ①〇 ②× ③〇 ④×
 (2) 重要文化ざい じゅうよう
- 4 (1) 通潤橋のひがい
 →(例) ひびわれが起きた。
 用水のひがい
 →(例) 土砂が流れこんだ。 どしや
 (2) ③
 (3) ボランティア
 (4) (例) 通潤橋の価値を未来に残すため。 かち みらい のこ

- 1 (2) じょうぶな橋をつくるために、たくさんの石が積まれてできている熊本城の石がきを参考にしました。
- 2 (1)(2) まず木のわくをつくり、その上に土台をつかって石を組みます。最後に木のわくを外して完成です。 かんせい
- 3 (1) 地図とグラフをよく見ましょう。②家の集まる場所はほとんど変化がありません。④この地図とグラフからは人口の変化を読み取ることはできません。 へんか
- 4 (1) 通潤橋は2016年4月の熊本地震でひびわれなどが生じました。同年6月の大雨のときには、用水に多くの土砂が流れこみ、地いきは大きなひがいを受けました。
 (2) 高れい者が多い地いきの住民の中には、農業をやめたり、まちははなれたりする人もいました。農業だけでなく、観光にもえいきょうが出ました。
 (3) ボランティアをする人たちは、こまっている人や社会の役に立ちたいといった願いをもって活動しています。 じゅうみん ねが



おうちのりたへ

通潤橋がつくられてから、人々の生活が豊かになったことを学びます。また、2016年の熊本地震や大雨などで被害を受けた通潤橋を、未来に残すための人々の取り組みについても学びます。

- 1 ①教育 ②番組 ③ますい ④学校
- 2 ⑤松江 ⑥国宝 ⑦のり ⑧養しょく ⑨水産試験場

- 1 ①—エ
 ②—ア
 ③—ウ
 ④—イ
- 2 ①〇 ②〇
 ③× ④〇

- 1 ②都が東京にうつり、京都のまちがさびれてしまうのではないかと心配した人々がつくりました。③試験やくふうをくり返して、1960年代にのりのとれ高が一気にのび、1971年には、はん売量が全国1位になりました。
- 2 ③ 江頭杉太郎が養しょくを始めたのは1952年です。全国1位になるまでには20年近い年月がかかりました。 えがしらすぎ たろう

5 特色ある地いきと人々のくらし

- 1 ①すずり ②地球 ③観光 ④明治村
- 2 ⑤600 ⑥伝統的 ⑦特産品 ⑧9割

ひたたり 2 練習 67 ページ

てびき

- 1 ①ウ ②エ
- ③ア ④イ

- 2 ①学校
- ②伝統的工芸品
- ③東日本大震災
- ④東京
- ⑤仮設工房

1 ①湾の景色を遊覧船で楽しむことができます。③明治時代に建てられた建物がたくさん残っています。

2 雄勝すずりは600年もの歴史がある伝統的工芸品です。①1950年には学校用のすずりが生産されるようになりました。その後②1985年に国の伝統的工芸品に指定されています。④東京駅の屋根には、③2011年の震災で、津波によって流された雄勝石が使われています。

ひたたり 1 じゃんび 68 ページ

- 1 ①うすく ②のみ ③手作業

- 2 ④東日本大震災 ⑤ボランティア ⑥ぎじゅつ ⑦体験会 ⑧マイすずり

ひたたり 2 練習 69 ページ

てびき

- 1 (1) ①さい石 ②ほり
- (2) ①× ②○
- ③○

- 2 (1) 文房四宝まつり
- (2) ①, ③ (順不同)

1 (1) すずりづくりは、①さい石→切だん→すなすり→②ほり→みがき→仕上げの順に行われます。

(2)① 職人の数は、だんだんへってきています。

2 (1) このイベントは、産業を守るために行われています。
(2)② さまざまな人たちの協力で、2014年には仮設工房が完成しており、すずりづくりが再開されています。

ひたたり 1 じゃんび 70 ページ

- 1 ①外国 ②遊び ③ふえ ④100人

- 2 ⑤9 ⑥国旗 ⑦国際友好都市 ⑧スポーツ ⑨東日本大震災

ひたたり 2 練習 71 ページ

てびき

- 1 (1) 8000人
- (2) (およそ) 2倍
- (3) 中国

- 2 (1) 都市 リバサイド市 国 アメリカ
- (2) 1989年
- (3) 1991年

1 (2) 1995年は約6000人で、2018年は約12000人です。

(3) 3000人をこえている中国がもっとも多いです。

2 (1) 年表を見ると、1957年のリバサイド市が最初の国際姉妹都市であることがわかります。地図で見ると、リバサイド市がアメリカの都市であることがわかります。

(2) 仙台市に国際交流課がつくられた2年後の1991年に、マラソン大会が開始されています。

ひたたり 1 じゃんび 72 ページ

- 1 ①仙台観光国際協会 ②地いき ③留学生 ④災害 ⑤ラジオ ⑥文化

- 2 ⑦ひなん所 ⑧宗教 ⑨防災

- 1 (1) ①○ ②×
③○ ④○
⑤×
(2) ア, イ (順不同)
(3) ①東日本大震災
②外国人の人(外国人住民)
(4) 力

- 1 (1) 何のために交流するのかを考えてみましょう。②⑤はまちがいです。世界はちがう人たちがいて成り立っていることを知ることが大切です。
(2) この放送は主に外国人住民向けです。
(3) 東日本大震災では、外国人住民もひなん所にたくさん集まりました。いざというときに力をあわせられるように、外国人も参加した防災訓練が行われています。

- 1 ①ウ ②イ ③ア
2 (1) ①原料 ②600
③東日本大震災 ④9
⑤東京
(2) 伝統的工芸品
3 (1) 2000 (人)
(2) 100 (人に1人)
(3) 2000 (人)
(4) ①× ②○ ③○ ④○
(5) 留学生
(6) (例) 国のことなる人々がおたがいの文化的なちがいをみとめ合い、対等な立場で生きていくこと。

- 1 ②雄勝町は石巻市にあります。③登米市登米町には古い建物が多く残っています。
2 (1) 東日本大震災により雄勝すずりづくりは一時的にできなくなりましたが、人々の協力により、2014年に再開されました。
3 (1) 2000年がおおよそ8000人、2005年がおおよそ10000人なので、おおよそ2000人ふえていることがわかります。
(2) 仙台市の人口が109万人なのに対し、外国人住民数は約12000人なので、おおよそ100人に1人が外国人住民となります。
(4) ①仙台と交流のある都市は、9つあります。
(6) 国のことなる人たちが、どう共生していくかを考えることが大切です。



おうちのかたへ

宮城県の地いきの特色を学びます。宮城県では、伝統的工芸品をつくる地いきがあったり、国際交流に努める地いきがあるなど、各地でさまざまな特色が見られます。お住まいの地いきにはどのような特色があるのか、お子さんと探して、話し合ってみてください。

- 1 ①島 ②観光地
2 ③松 ④ごみ ⑤住民 ⑥日本三景 ⑦文化ざい ⑧色 ⑨都市

- 1 (1) 2010年
(2) 東日本大震災
(3) (おおよそ) 300 (万人)
2 (1) ①手入れ ②ごみ
③色 ④アマモ
(2) 都市景観大賞

- 1 (1) グラフのぼうがいちばん長いのは2010年です。
(2) 震災のえいきょうで松島町に来る観光客がへりました。
(3) 2013年とほぼ同じ数です。
2 松島町では、美しい景観を守るために、町と住民との間で何度も勉強会や、話し合いを行ってきました。その取り組みがみとめられて、2015年に都市景観大賞を受賞しました。

- 1 ①遊覧船 ②体験 ③パンフレット ④交流員
2 ⑤未来 ⑥英語 ⑦観光科 ⑧実習

- 1 ①—イ
②—ア
③—ウ

- 2 (1) ①○ ②× ③○
(2) 観光客

- 1 ①お盆ぼんの供養くようや盆おどりなどが行われています。②韓国語や英語のパンフレットがつけられています。③地元に住む外国人が、世界に向けて松島町のよさよさを発信します。
- 2 (1)(2)「松島子ども英語ガイド」では、小・中学生が外国人観光客に英語で観光案内をしています。

- 1 (1) ①○ ②× ③×
④× ⑤○ ⑥○
(2) (例) 2011年に東日本大震災ひがしにほんだいしんさいが起こったから。

- 2 (1) ①天橋立あまのはしだて
②厳島いづくしま
③日本三景にほんさんけい
(2) (例) 電柱がなくなっている。
(例) ブロックべいが生けがきなまけがきに変わっている。

- 3 (1) ①自然 ②学問
(2) ア× ①○
ウ× ①×
(3) ①ア
②ウ

- 1 (1) ③2011年と2015年にへっています。④このグラフでは、観光客のうちの外国人の人数は読みとれません。
(2) 震災によって観光にもえいかんこうきょうがでました。
- 2 (1) 日本三景は、宮城県の松島、京都府の天橋立、広島県の厳島の3つです。
(2) 電柱やブロックべいなどがなくなっています。新たに建物を建てる時は、景観に合う色や形かたちにするように気をつけられています。
- 3 (1) ほかにはない「どくじ」の風景、価値かちを持っていることが重要じゅうようです。
(2) ア新しい建物を建てることはできます。ただしつくる時に、景観に合う色や形かたちにするよう気をつけなければいけません。ウ使う色が赤色に決められているわけではありません。①古い木材を使うという決まりはありません。
(3) ①大人だけでなく、子どもたちも活動しています。



おうちのりたへ

宮城県松島町の人たちが、町の美しい景観をどのように守り、世界に発信しているのかを学びます。松島町では、大人だけでなく小・中学生の子どもたちも一緒になって町の良さを発信しています。お住まいの地域ではどのようなまちづくりが行われているのか、お子さんと一緒に考えてみてください。

- 1 ①明治 ②水沢 ③観光客
2 ④江戸 ⑤重要 ⑥宮城県 ⑦ほぞん ⑧形

- 1 ①イ ②ウ ③ア ④エ
2 (1) ①景観 ②補助金
(2) (例) 建物の色や形を景観と合わせること。

- 1 どの方向にある建物なのかをよく考えて答えましょう。
2 (1) 登米町は30年ほど前から古い建物やまちなみの景観のほぞんに力を入れています。
(2) 景観と合わせたまちづくりが行われています。

- 1 ①校舎 ②江戸 ③観光 ④森舞台 ⑤文化ざい
2 ⑥動画 ⑦ペン
3 ⑧こけし ⑨蔵王連峰

- ① (1) ①—ウ ②—エ
③—イ ④—ア
(2) ①○ ②○ ③×
(3) (例) 外国人観光客がふえてい
るから。
(4) こけし (5) 城

- ① (1) ①「とよま能」の舞台です。②教室で昔の給食が体
験できます。③昔のものがてんじされています。④江
戸時代の建物を休けい所として活用しています。
(2) ③地いきの住民も多く協力しています。地いきの住
民による明治村の観光ガイドもあります。
(3) このペンは、さまざまな国の言葉でガイドをします。

- ① (1) みやぎの明治村
(2) ①イ ②オ ③エ
④ウ ⑤ア
(3) 重要文化ざい
(4) 景観
(5) 補助(金を出す)
② (1) ①水沢 ②宮城 ③景観条例
(2) ①○ ②○ ③×
③ (1) (例) 建物の色や形を景観に合
うようにすること。
(2) ア PR 動画 ①外国
(3) こけし

- ① (2) それぞれの建物がどのようなものか考え、絵地図で
建物の位置を見ながら答えましょう。
(3) この建物ができたのが1888年なので、90年以上たっ
て指定されたことがわかります。
(5) 古くなった家や門、へいなどを修理するとき補助
金を出すなどの協力をしています。
② (1) 特別名勝と日本三景は松島町に関する言葉です。
(2) ③旧登米高等尋常小学校校舎が1981年に国指定の重
要文化ざいになりました。
③ (2) 日本語がわからない外国人観光客のためのものです。
(3) 宮城伝統こけしの一つで、弥治郎こけしとよばれて
います。



おうちのカタヘ

宮城県登米市登米町に見られる、古いまちなみを生かしたまちづくりについて学びます。ここでも、松島町と同じように、町と住民の協力が大事であることがわかります。古いものがなぜ大切にされるのか、ご家庭でもいっしょに考えてみてください。



夏のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) ㉞北海道
①滋賀県
㉟熊本県
㊱東京都
㊲香川県
(2) 東北(地方)

- 2** (1) (都道府)県庁所在地
(2) ㉞
(3) ㉞西 ①三陸(海岸)
(4) ㉞
(5) 山形自動車道
(6) 仙台(市)

- 3** (1) ①じょう水場
②家庭
(2) 緑のダム(水げんの森)
(3) (例)水じょう気になったあと、
雨となり地上にふる。

- 4** (1) ㉞
(2) リサイクル
(3) 3R
(4) ①

- 5** (1) ①×
②×
③○
④○
(2) (例)ごみのしゅう集やしより
にお金がたくさんかかる
こと。

おうちのなかへ

都道府県の面積は、大きい順に①北海道②岩手県③福島県④長野県⑤新潟県となり、東日本に広い県が集まっています。反対に、面積の小さい都道府県は①香川県②大阪府③東京都となります。特徴を知ること、都道府県が覚えやすくなります。

- 1** (1) ㉞北海道は、47都道府県の中でもっとも広いです。
①滋賀県にある琵琶湖は、日本でもっとも広い湖です。
㉟熊本県は、九州地方にふくまれます。
㊱瀬戸大橋は、岡山県と香川県を結んでいます。
(2) 日本を7つの地方に分けると、北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方となります。

- 2** (2) ①のような地勢図からは、土地の高さや、海や川の場所などを知ることができます。
(4) ①の地図の、土地の高さを表す色分けを確認しましょう。㉞は、Aの近くは土地の高さが500mをこえており、地図中の「奥羽山脈」の地名からも山地だとわかります。500mをこえるのはAの近くだけで、そのほかのBまでの土地は500mよりも低く、断面図と同じ地形だとわかります。①は、Cに近いところやC-Dの中央あたりに500mをこえる高い土地が続いており、断面図とはことなっています。

- 3** (1) 川の水はそのままでは飲めないため、じょう水場に取り入れて安全な水にしています。きれいになった水は、水道管を通して家庭や工場に送られます。
(2) 木の根などに雨水をしばらくの間たくわえる働きがあることから、「緑のダム」とよばれます。
(3) 川から海に流れこんだ水は、あたためられて水じょう気となり、雨になってふたたびわたしたちのもとにもどってきます。

- 4** (1) もえるごみは、せいそう工場に運ばれてもやされ、はいになります。
(3) ごみになるものをへらすリデュース(Reduce)、くり返し使うリユース(Reuse)とリサイクル(Recycle)の3つのRをとって3Rとよばれます。
(4) ㉞はリサイクルの取り組みです。

- 5** (1) ①残ったはいは、しよぶん場にうめられたり、道路工事の材料として再利用されたりします。②プールや大浴場では、ごみをもやしたときに出る「熱」が利用されています。④はいをとかしてつくられるエコスラッグは、道路工事で使う材料となります。
(2) ごみのしゅう集には、たくさんの人やトラック、ごみのしよりにはたくさんしせつが必要で、お金がかかります。こうした点からも、わたしたちはごみをへらす努力をしなければならぬことがわかります。



- 1** ①転とう防止
②災害用伝言
③ひなん場所
④ひなん用のリュック
- 2** (1) 防災(計画)
(2) ①津波ひなんビル
②地面
(3) ①
- 3** (1) きょう土芸のう
(2) ①, ⑤(順不同)
(3) 文化ざい
(4) ①×
②×
③○
④○
- 4** (1) ①れきし
②思い(①②順不同)
(2) (例) 子どもたちに祭りを伝える
ていくため。
- 5** (1) 布田保之助 ㊦
橋本勘五郎 ㊧
(2) ㊦, ㊧(順不同)

- 6** (1) 高さ
(2) ①
(3) 200 (m)
(4)



- 1** 災害について、家族でふだんから話し合っておくことが大切です。
- 2** (1) 防災計画では、救助やじょうほうの伝達などをどのようにするかや、ひなん場所などを定めています。
(2) ②海ばつとは、海水面からの地面の高さのことです。ひなんするときにはひと目でわかるようにしています。
(3) 「自助」は災害時に自分の身を自分で守ること、「公助」は、市や県、国などによる災害時の助けのことです。ほかに、「互助」とよばれる、ほかの地いきとの助け合いがあります。
- 3** (1) きょう土芸のうには、いわれがあり、歌やおどりの一つ一つに意味がこめられています。
(2) ㊦見学や体験ができるものは実際にしてみるとよいです。
(4) ①建物は取りこわさず、古くなると改ちくし、昔からのすがたを守っています。
②鉄道を町の中心部から走らせて、遠くの人たちも来やすいようにしました。
- 4** (1) 資料の「かざりは、その地いきのれきしや思いに関係したものになっている」の部分を読み取りましょう。
(2) 地いきの祭りを続けていくために、子どもたちに祭りのよさを伝えていきます。
- 5** (1) ㊦の石工は、石を切り出していろいろなものをつくる職人のことです。このころ、各地にすぐれたぎじゅつをもつさまざまな集団がいて、地いきのはってんにつくしました。㊧の惣庄屋とは、多くの村のまとめ役のことです。布田保之助は、今の白系台地のあたりに位置する、矢部という地いきの惣庄屋でした。
- 6** (2) 等高線は、線の間かくがせまいとかたむきが急になり、広いとかたむきがゆるやかになるので、一番間かくがせまい①が正しいです。
(3) 図を見ると、いちばん外がわの等高線は0(m)とわかります。この図の等高線は100mごとに引かれているため、外がわから3本目の線の上にあるAは200mとなります。
(4) 断面図のかき方は次の通りです。
①上の図の等高線から下の図に垂直な線を引きます。
②下の図の高さの線と交わった点を結んでいきます。

おうちのかたへ 等高線は土地の傾きを知ることができ、高学年や中学生になっても活用されます。4年生では、等高線の間隔が狭いと傾きが急、広いと緩やかであることをつかみます。



春のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) ①^{でんとうてき}伝統的
②へって(少なくなつて)
(2) (ア)→オ→ウ→カ→イ→エ
(3) ①ボランティア
②体験会

- 2** (1) 9(つ)
(2) (例)国を表す目印としての役

- 3** (1) ^{ちゅうごく}中国, ^{かんこく}韓国(順不同)
(2) ^{りゅうがくせい}留学生
(3) (例)日本語が不自由な人や習
かんや宗教のちがう人

- 4**のA (1) ^{にほんさんけい}日本三景
(2) ①×
②○
③○
(3) (例)日本語の不自由な外
国の人が観光しやす
いまちにしたいから。

- 4**のB (1) ㊦
(2) ①×
②○
③○
(3) (例)日本語の不自由な外
国の人が観光しやす
いまちにしたいから。

- 1** (1) ①伝統的な産業とは、地いきの自然や古くから伝わ
るぎじゅつを生かして、長く受けつがれてきた産業の
ことです。
②雄勝町では人口がへっているため、観光客に来ても
らって多くの人に雄勝すずりを知ってもらうよう取り
組んでいます。
(3) 体験会や「マイすずりづくり」を行うなど、新しい
取り組みを通して、昔から続くぎじゅつを知ってもら
おうとしています。

- 2** (2) 国旗には、その国の人々の願いや気持ち^{ねが}がこめられ
ており、国と国とが交流するときには、おたがいの国
旗をかかげてそんちょうしあいます。

- 3** (1) このグラフのたてじくは人数を表しています。仙台
市には、中国から4000人近く、韓国からおおよ
2000人の人が来て、くらしていることがわかります。
(3) 日本は災害^{さいがい}の多い国であるため、いざという時にお
たがいの文化的なちがい^{てき}によってこまらないよう、外
国の人といっしょに訓練を行ってそなえています。

- 4**のA (2) ①新しい建物を建てるときは景観にあう形や色
にすることや、電線^{でんせん}を地中にうめて電柱^{でんちゅう}をなくす
ことなどを取りきめた「景観条例^{けいがんじょうれい}」がつくられて
います。
(3) 外国人観光客をふやすために、数か国語のパン
フレットをつくっています。そのほかにも国際交
流員が外国語メニューをつくったり、インター
ネット^{はっしん}で松島町のよさを海外に発信したりしてい
ます。

- 4**のB (1) 登米町は「みやぎの明治村^{めいじ}」とよばれ、明治時
代に建てられた建物がたくさん残るまちなみを
守っています。
(2) ①新しい建物を建てるときは、景観にあう形や
色にすることなどを取りきめた「景観条例^{けいがんじょうれい}」がつ
くられています。
(3) 登米市ではより多くの観光客を集めるために、
さまざまな国の言葉でガイドするペンをつくった
り、PR動画^{ピーアール}を作成^{さくせい}したりするなどのくふうをし
ています。



さまざまな国の人が日本で暮らすようになりました。言語だけでなく、生活習慣や宗教の
違いを互いに理解し、特に災害時などには力を合わせられる社会となるよう取り組んでいることを学びます。

- 1**のA ①せいそう工場
②しょぶん場
(最終^{さいしゅう}しょぶん場)
③リサイクル

- 1**のB ①イ ②イ ③ア

- 2**のA ①〇 ②× ③×

- 2**のB ①イ ②ウ ③エ

- 2**のC ①ウ ②オ ③ア

- 3** ①× ②〇 ③〇

- 4** (例) 日本に住む外国人が災害^{さいがい}時にこまらないようにするため。

- 5** (1) 47 (つ)

(2) 北東

(3) ①滋賀^{しが}県

②東京都

(4) ①青森県

②石川県

(5) (記号)①

(都道府県庁所在地)津市^つ

- 6** (1) ア, ①(順不同)

(2) ①

(3) (例) 市街地は、土地の低いところに多く集まっている。

- 1**のA もえるごみ(もやすごみ)は、せいそう工場に運ばれてもやされます。もやして残った灰は、しょぶん場にうめられたり、セメントや道路工事^{ざいりょう}の材料に再利用されたりします。

- 1**のB 家や工場で使った汚水^{おすい}を、雨水とあわせて下水とよびます。

- 2**のA ②「緑のダム」とよばれるのは湖ではなく森林です。
③毎日水質検査をしているのは、じょう水場です。

- 2**のB ①水力発電は水が流れる力で発電するため、長い間雨がふらなかつたりすると、必要な量の発電ができなくなることもあります。

- 2**のC ①天然ガスや石油などの化石燃料は、日本ではあまりとれないため、海外から運^{つた}んでいます。

- 3** ①②伝統的な産業では、昔から伝^{つた}わってきたぎじゅつを使って、主に地元の原材料をもとに手づくりでせい品づくりを行っています。

③近年、ぎじゅつを受けつぐわかい人がへっているという問題もあります。

- 4** 自然災害^{しぜん}の多い日本で、日本語がわからない外国人がいざという時にこまらないように、さまざまな言語のパンフレットをつくっています。

- 5** (1) 1都, 1道, 2府と, 43県からなっています。

(2) ④の福岡^{ふくおか}県からみて北海道は北東に位置しています。

(5) アは山形^{やまがた}県, イは群馬^{ぐんま}県, ウは千葉^{ちば}県, エは三重^{みえ}県, オは鳥取^{とっとり}県, カは高知^{こうち}県, キは山口^{やまぐち}県, クは熊本^{くまもと}県。

このうち、海に面しているのはア, ウ, エ, オ, カ, キ, ク, コ。都道府県名に動物の名前がつかないのは, ア, ウ, エ, カ, キ。都道府県名と都道府県庁所在地名がことなるのは, イ, エ。3つの説明すべてにあうのはエの三重県で、県庁所在地は津市です。

- 6** (1) ①栗原市は海からはなれたところに位置しています。
②阿武隈^{あむくま}川は、県の南側を流れています。

(2) 地図をみると、Aに近いところのほうが土地が高くなっています。真ん中からBの近くにかけては土地は低くなっています。断面図の②はBに近いところが高いためあてはまりません。また③は真ん中がもっとも高いためあてはまりません。

(3) 「森林は土地の高いところに多い」「田・畑・かじゅ園は土地の低いところに多い」など、2つの地図からわかることが書けていればよいです。